

昭和40年奥越豪雨 笹生川ダム洪水調節実績図 (S40.9.14~16)

○洪水操作・連絡状況

- ・14日23時過ぎに制限水位を超え、放流開始の基準に達したが、中島発電所からの要請で放流延期（民家が流失寸前、配電盤室が浸水寸前等の状況）
- ・流入量、貯水位状況より01時にダム放流の予定を下流市町村に連絡
- ・15日02時に中島発電所より住民、職員が退避したとの連絡あり
- ・02時20分に放流開始（市町村に連絡の1時間20分後）

○ダムの効果

- ・ダムに約2,500万 m^3 を貯留
- ・洪水ピーク流量を低減、ピーク時間を約10時間遅らせ、避難時間を確保
- ・最大貯水位はEL.529.42mでサーチャージ水位(EL.529.5m)に達していない

